

デジタルハリウッド大学

建学の精神、使命・目的、教育研究目的

大学の建学の精神

知の創造と伝授こそ、人類の歴史を単なる生物の営みでなく、高度な文明と文化を持つ生物の歴史として成らしめているものと言えよう。知を表現し他者に伝えることができるという人間が持つ特徴的な能力を、さらに進歩させうる人材育成を行うことこそが、未来に渡り人類の繁栄を確かなものとするために、必要かつ欠くべからざるものであるという信念のもと、ここに大学を開学する。

大学（学部）の使命・目的

本学は、教育基本法に則り、学校教育法の定める大学として、真偽、善悪、美醜の3つの概念を基礎にした高等教育により、広く人類社会の発展に寄与する人材を育成すると共に、それに付随する研究開発を行うこととし、これをもって文化向上と社会発展に寄与することを使命とする。

学部の教育研究目的

デジタルコミュニケーション学部は、クリエイティビティ、ICT、英語を教育の基軸に置き、教養と専門的な学術を教授研究することにより、「判断力」「創造力」「コミュニケーション力」を有し、国際社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

大学院の使命・目的

本大学院は、教育基本法に則り、学校教育法の定める専門職大学院として、人類が産み出す無数の知から、新たな知の関係を創造・構築することにより、広く人類社会の発展に寄与する人材を養成すると共に、それに付随した高度かつ実践的な研究開発を行うこととし、これをもって文化向上と産業発展に寄与することを使命とする。

研究科の教育研究目的

デジタルコンテンツ研究科は、ビジネス、クリエイティビティ、ICTの融合こそが、これからの社会において重要かつ欠かすことのできない要素であるとの認識のもと、深く専門の学術を教授研究し、実学に根ざす卓越した応用力と実践力に富む人材を養成することを目的とする。

「すべてをエンタテインメントにせよ！

(Entertainment. It' s everything.)」

建学の精神、使命・目的をより周知させるため、その趣旨を反映したスローガン「すべてをエンタテインメントにせよ！(英文表記：Entertainment. It' s everything.)」を新たに掲げた。

「すべてをエンタテインメントにせよ！」とは、デジタルコミュニケーションの基本である人間の知をデジタル技術により高度に表現をして行くということに加え、それを、どのような立場を持って表現するかということ、凝縮していった過程で、出てきたスローガンである。

そもそもエンタテインメントには、おもてなしという概念が入っており、これは相手の立場にたって、表現を創っていくという姿勢として解釈する。個人の表現を極めて行こうとする芸術分野とは異なるということを学生に理解してもらいたいということでもある。

本学では、いわゆる映画、漫画、音楽、ゲームなどのエンタテインメントコンテンツだけでなく、教育、医療などの現場、さらにすべてのものの販売、そして生活をしていく上で必要となる事務手続きなど、およそ人が知や情報と関わるすべての局面において、おもてなしの心、つまりエンタテインメント性をいれたコミュニケーションを創造できるということを重視している。

どのように複雑なことであっても、それを誰でもが理解できるような構成を作り、適切な表現手法を駆使し、デジタル化された知として出現させる能力は、やがてデジタルコミュニケーションの本質である「人間の知の可能性への挑戦」につながっていくことだとしている。

「すべてをエンタテインメントにせよ！」というスローガンのもとデジタルコミュニケーションをデザインしていく本学の卒業生たちが、人が人となることをならしめている重要な要素のひとつである知の伝授と伝承を高度化することを期待しているということである。